

第182回一関市教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 平成30年7月25日（水）午後2時00分

閉会 平成30年7月25日（水）午後3時57分

2 会議の場所

議会第2委員会室

3 出席者

教育長 小菅正晴

委員 千葉和夫

委員 小野寺眞澄

委員 佐藤一伯

委員 伊藤一志

4 会議に出席した関係者及び職員

教育部長	千葉敏紀
一関図書館長	千葉秀一
教育部次長兼学校教育課長	小山祐二
教育部次長兼文化財課長兼骨寺荘園室長	佐藤武生
教育総務課長	中田善久
いきがいつくり課長	伊東吉光
教育総務課長補佐兼庶務係長	千葉由紀（記録）

5 議題及び議決事項

議案第14号 教科用図書の採択に関し議決を求めることについて（可決）
（非公開）

議案第15号 一関市教育委員会の事務事業等に関する点検評価報告について
（可決）

協議第4号 財産の取得について（学校給食用システム食器類洗浄機等備品）
（了承）

6 報 告

- (1) 第66回一関市議会定例会（一般質問）の状況について (資料No. 1)
- (2) 行事報告及び8月行事予定について (資料No. 2)

7 その他

- (1) 平成30年度学校教育行政の重点について（特別支援教育） (資料No. 3)
- (2) 大東学校給食センターの調理業務委託について (資料No. 4)

8 会議の議事

○教育長 只今から第182回教育委員会定例会を開催いたします。

最初に、議事に入る前に会議の非公開について、発議したいと思います。

会議は原則公開ですが、人事に関する案件、あるいは公開にふさわしくない案件につきましては、非公開とすることができるということで、3分の2以上の賛成の場合には、公開しないということができるようになっておりますが、今回は最初の議事日程第1が教科用図書の採択に関する議決を求めることについてですので、この中身については率直な意見交換、あるいは中立性を確保する意味から公開しないことを提案したいと思います。

これについて皆さんから、非公開ということについて、確認を行いたいと思うのですが、順次、賛否をお話ししてください。

千葉委員、いかがですか。

○千葉委員 賛成です。

○教育長 小野寺委員、いかがですか。

○小野寺委員 賛成です。

○教育長 佐藤委員、いかがですか。

○佐藤委員 賛成です。

○教育長 伊藤委員、いかがですか。

○伊藤委員 賛成です。

○教育長 私も非公開には賛成であります。

5人中、5人が賛成ですので、議事日程第1については非公開ということによりまして、お願いいたします。

それでは議事に入ります。

(非公開)

議案第15号 一関市教育委員会の事務事業等に関する点検評価報告について

○教育長 先ほどまで非公開でありましたが、この部分、議事日程第2からは公開といたします。

議案第15号、一関市教育委員会事務事業に関する点検評価報告について、事務局よろしく申し上げます。

○教育総務課長 それでは資料10ページをお開きください。

議案第15号、一関市教育委員会の事務事業等に関する点検評価報告についてご説明申し上げます。

(説明)

○学校教育課長 学校教育課、21事業ありますので、全て話すと時間が足りなくなりますので、今回は自己評価が変化したものと、外部評価会議に出て、外部評価の委員さん方から意見をいただいたもの、五つに絞って説明します。

(説明)

○教育総務課長 続きまして、教育総務課分の説明をいたします。

(説明)

○いきがづくり課長 社会教育の分野から、いきがづくり課が所管する三つの事業の内、二つについて説明いたします。

(説明)

○一関図書館長 図書館からナンバー30から32までの三つの事業について、新たに取組んだもの等を中心に、ご説明を申し上げます。

(説明)

○博物館次長 博物館の事業でございます。

(説明)

○文化財課長 続きまして、35ページでございます。

(説明)

○教育長 以上ですね。

ありがとうございました。

それでは、多岐にわたって項目数もかなりに上りましたけれども、これにつきまして、ご質問ご意見等よろしく申し上げます。

○佐藤委員 学校教育課のご報告の中で、ナンバー1の確かな学力育成事業。

今後の取組みとして事業改善、構造的板書とテンポ良い授業についてご指摘になって

おられまして、あとナンバー5の児童生徒健診事業。

こちらは各学校での取組みと、健康づくりの広報活動ということを課題にあげていただいたのですが、外部評価を拝見しますと、39ページ、学力向上について家で、どれだけ学習するかを基本に考えたほうがいいのかというご指摘がありました。

ですので、なかなか家庭に理解をいただくというのは難しい部分もあるかと思うのですが、家庭教育との連携というのも、これは今申し上げた学力と健康づくりですが、この辺り、やはり学校だけの努力が難しい部分もあり、連携してくということも、大事ではないかと、私も少し思っ、聞かせていただいたところです。

○教育長 所見をお願いします。

○学校教育課長 委員がおっしゃったように、学力向上も健康づくりも、家庭との連携の欠かせないところでありまして、各学校はもちろん、いろいろな機会をとらえて家庭と連携をしております。

ただ、全市的にもう少し共通の取組みをしながら、いろいろな資料も示しながら、そうすることによって家庭の協力をより引き出して、取り組むことに成果を出したいということで、学力向上について岩手県としても、家庭学習は大きな課題であります。

全国学調の結果を見ても、時間が短いという結果が出ておりまして、この外部評価会議でも、評価の先生から、その視点を踏まえて意見が出されています。

それについても各学校、教育委員会も十分承知しておりますので、内容も含めて取り組んでいきたいと思っております。

以上です。

○教育長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○教育長 その他、いかがでしょうか。

○伊藤委員 学校教育課のことです。

ナンバー8の国際理解教育推進事業。

先般、私達は視察研修において、山形の長井小学校の英語の授業を見させていただき、S k y p e (スカイプ)というのをを使って、非常に効果を上げているように、私は感じました。

そのような授業で子ども達の英語能力、国際理解もそうですが、成果を見たときに、一関市は導入の考えはないのでしょうか。

○教育長 これは私から。

私も非常に魅力的な中身だと見ました。

15分くらいの中でしたが、フィリピンの方と一人ひとりが画面を通じて英会話をやっ

ている。

もちろん、何て言うのかという英語文の表示はあるのですが、非常に魅力的に思いました。

ただ、1人当たり15分で1,000円程度かかるので、一関市にこれを導入して広げるとなると、かなりの予算規模になるので、慎重に考えなくてはいけないかなというふうに思ったのと、それから一関の場合、やはりALTが13人いるということで、これは県内でも1番多い数です。

ちなみに盛岡は7人と聞いておりましたので、人口比にしても、ものすごい数を一関の場合、配置しております。

予算規模にしても13人を数百万ですから、かなり年間かけていることになりますので、やはりこれをもう少し活用しながら、そういった新しい手法も研究しながら、今後について研究していく必要があるのではないかと捉えていました。

今の段階では、明確にどの方向ということは言えないのですが、アンテナを高くして研究していく必要があると考えております。

その他。

○千葉委員 関連ですが、今の伊藤委員が言った内容は、30ページの英語の森キャンプでやっている内容とほぼ同じなのかなと。

○いきがづくり課長 姉妹都市オーストラリア、セントラルハイランズ市のインターネット電話を利用した交流というのは、そのS k y p e (スカイプ)を利用したものです。

ただ、こちらの参加が60人強、あちらの生徒も半数くらいの多人数で交流していますので、グループに分かれて会話をするという形になりますから、一人ひとりというところまでは至っておりませんが、このS k y p e (スカイプ)を利用しています。

S k y p e (スカイプ)は無償のソフトですので、この導入自体はお金がかからないと思うのですが、教育長のおっしゃったように通信料ということだと思います。

こちらで、交流として1時間くらいは、10グループで1時間位、英語の森キャンプで実施しております。

○千葉委員 会話をする対象はオーストラリアの生徒達ですか。

(「はい」の声あり)

○千葉委員 長井小学校と一緒にですね。

○いきがづくり課長 そのとおりです。

あちらは中高一貫ということのようですが、中学生の年代にあたる学年の生徒と会話をしています。

オーストラリアは日本語を勉強している学校だそうですので、英語もあり、あちら側

は日本語もありというような、そのようなことです。

○教育長 よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長 その他、いかがでしょうか。

○伊藤委員 少しいいでしょうか。

このことですが、結局、英語の森というのは、英語の森キャンプは特定の生徒だけですものね。

私がさっきお話したのは、学校教育の中の全体の生徒が対象というようなことだったので、そこはやはり違いますよね。

○教育長 そうですね。

○いきがづくり課長 定員を60人と決めて、自分で参加したいという募集をかけていますので、全員ではございません。

○教育長 この間も子ども達が本当に意欲的に取り組んでいましたので、現実的に可能かどうかという部分で慎重に判断しなければいけないのですが、そういった機会があれば、ぜひ少し研究を広げて現実的に可能かどうか、今後の検討によるというふうには見ました。

大変良い中身でありましたので、今後、参考にしていきたいと思います。

その他、いかがでしょうか。

○千葉委員 17ページのナンバー1、確かな学力育成事業のところ、主な活動、事業改善パンフレット、わかる事業の7つのポイントの活用となっておりますが、この活動が適切になされたのかどうかということの評価されるわけでしょうが、何を評価基準にして評価したのでしょうか。

○学校教育課長 これは教育研究所の先生方が1年間の終わりに、授業改善パンフレットを使った指導をしたかどうかというのを聞いており、校内検討会等に行った際に使用の状況等を確認し、把握しておりました。

○千葉委員 関連で、今後の取組みのところの構造的板書とテンポの良い授業に取り組む、これができるかどうかというのはどうやって評価するのですか。

○学校教育課長 教育委員会としても方針として二つ重点項目に出していますので、そのような授業形態で普段的に進めることができたかというような項目で調査をしたいと思っております。

○千葉委員 分かりました。

○教育長 その他、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

○千葉委員 19ページの児童生徒健診事業ですが、この肥満傾向出現率が岩手県、それか

ら全国に比べて高いということで、事業の成果はBというよりはCでもいいのではないかなという感じも受けるのですが、この辺りのところはいかがでしょうか。

○**学校教育課長** 他市町村でも話題になっているのですが、なぜ肥満が岩手県は高いのか、その原因については、はっきりした原因と対策が打ち出せないでいます。

この成果の指標は、法的にやるべき検診事業を着実にやっているということで、この健診事業自体は着実に実行しているからBということです。

○**千葉委員** なるほど。

○**学校教育課長** ただ、Aというには着実に実行しているけれども、肥満などという状況なので、Aではないだろうということで、Bにいたしました。

○**千葉委員** 分かりました。

○**教育長** 実際にやっていることと、それから効果があるかどうかという部分で見ると、確かにCと評価されるかもしれませんね。

ここは検討していただければなと思いますが、なかなか学校での取組み、児童生徒の学校での取組みという部分だけに限定するとなかなか難しいところあります。

ですから、ここはまさに悩む部分ではありますが、今の意見も含めて検討をお願いします。

その他、いかがでしょうか。

○**伊藤委員** 25 ページの学校教育課のこたばの力を育てる教育推進事業（幼児期こたばの時間）というところですが、本市が特に重点項目にしているわけですが、この成果が非常によく出ているということでしたが、この間、長井市視察の際に、家庭での読み聞かせ、それもお母さんの読み聞かせに関しては、非常に効果を上げているというお話を伺ってきました。

それは、子どものみならず、家庭の融和はもちろんそうですが、お母さんのストレスが少なくなっている。

読み聞かせをすることによってお母さんのストレスが減って行って、そして子どもに対する教育的な環境も整っていくし、それから精神的にも安定してくると、子どもためにもすごくよくなるというお話でしたし、そこに旦那さんも関与すると更に家庭が融和になっていく。

子どもの能力も高まっていくというお話を伺って、すごく強い感銘を受けました。

このことについて例えば、幼稚園、教育委員会として関わっている幼稚園だけですが、家庭に何かこう、そのようなものを今のような形で影響を与えろとか、あるいはお願いする、そのようなものはないのでしょうか。

○**学校教育課長** 家庭での読み聞かせについては、小学校低学年、それから幼稚園等でも

昔からやってきているわけで、お母さん達にも呼び掛けているのですが、今回は、教育委員会としては、幼稚園の部分のことばの時間について、しっかり充実したものにしていくと、そこを確立していくと。

多分、その様子を保護者が参観等で見たり、子どもに聞くことによって、影響を受け、良い意味で家庭の読み聞かせに繋がっていくと思いますので、第一義的には、幼稚園でのことばの時間を充実すると、そこに力を注いでいきたいと思っております。

○教育長 私からも合わせてですが、今、伊藤委員がおっしゃったような中身の部分で非常に私も、なるほどなと思うこととか、示唆に富む部分が沢山あったなと思いました。

ただ、これ家庭教育の部分なので、就学の前なので、これは例えば、まちづくり推進部、あとは学校教育課、あるいは図書館とかですね、連携の中でやっていかないとなかなか、家庭に入るっていうのは非常に難しいですので、ただ、根本的に長井市の場合には、それをやることによって、例えば、母親と子どもの心の信頼関係を作っていくという、別の側面の効果というのはやはり非常に大きいと見ていました。

それによって、人格形成が上手くいくという、それは結局、人生の土台になっていくという、そのような考え方でありましたので、一朝一夕にはいかないのですが、そのような視点も今後は是非、大事にしながら対応していきたいと思っております。

その他、よろしいでしょうか。

○千葉委員 25 ページのことばの力を育てる教育推進事業のところで主な活動として、ことばの時間の実施と研修会の開催とあります。

この研修会というのは何回ぐらいやったのかというのと、その結果として、あまり成果が上がらなかったという部分があって、去年Aだった自己評価はBに下がったという、そのような側面もあるのかないか、そこを教えてください。

○学校教育課長 研修会の回数について、資料が今はないので、後で報告したいと思います。

成果については、研修会に参加してみて、先生方が意欲的に交流して学んでいたもので、研修会は成果があったと思います。

自信をもって各園で実施したと思うのですが、Bにした理由は先ほど言ったように、実際、各園での実施について、実施が定まらず、実施しなかったりなど時間も短かったりしたので、そのような意味でBにしました。

○千葉委員 分かりました。

○教育長 そこに私も付け加えますけれども、まだスタートして間もないということもあるので、小学校も実は次のページに、小学校があるのですが、次のページ、26ページの上に、こちらAになっているのですが、こちらは全部の学校でスタートして、比較的、小学

校のほうが、やっぱり音読文化になれているので、割とスムーズに入っていけるという部分が、その違いが若干あるのかなと見ました。

ただ、幼稚園も、手探り状態ではありますが非常に先生方が意欲的にやっている部分も見えますので、今後に期待したいと思います。

それから、AとBの評価については、ここは非常に難しく、前の年がAでも、次の年が同じことで同じようなぐらいの程度であれば、Bという評価になってしまったり、辛いところなのです。

先ほど、13ページでありましたように、Bというのも、事業の成果が表れているという評価なのです。

停滞しているという意味ではなくて、Bは事業の成果が見られる。

Aは十分な成果が見られるというもので、1回十分な成果を見られてしまうと次の年に同じことやっても、Bになってしまうという。

この難しさが少し、このA、Bに着目してしまうと、そこは少し難しい。

誤解を与える部分もあるのかなと思います。

Bは決して悪くなった意味ではなくて、そのとおりやっていたと、一定の成果が見られたと捉えていただいたほうが良いと思います。

○教育部長 先ほどの、ことばの力のですね。

幼児期ことばの時間の関係ですけれども、今日は教育委員会サイドですので、幼稚園の話をしていますが、昨年度、私は保健福祉部におりましたので、保育園とこども園については、そちらもモデル園ということで、すべての園ではございませんが、それぞれで研修ということで、相互に訪問したりして、研修を実施しておりますので、それも補足させていただきます。

○教育長 よろしいですか。

その他。

○佐藤委員 資料の 37 ページの骨寺村荘園遺跡世界遺産登録推進事業が、これがAからCに評価下げられたのと、戻って 35 ページの歴史民俗資料等活用整備事業、こちらもC評価ですけど、恐らく骨寺については、推薦書の提出を見送ったということが、2つランクを下げた理由になるのかなと思われまけれども、報告書は4冊出していらっしゃいますし、そういった意味では、継続的な研究調査は続けていらっしゃったので、B評価程度でよろしいのではないかと思います。

同じく歴史民俗資料館については、入札が不調で、整備工事が遅れたということが最大の理由にはなっていると思いますけれども、それに向けての様々なボランティア活動、市民ボランティアという初めての取り組み等もしていらっしゃいますので、その辺も加味

して、CからBにしてもいいのではないかと、私は拝見させていただきました。

○教育長 文化財課長、何かコメントありますか。

今の意見を踏まえて、少し検討していただければといいかなと思います。

他の委員さんで、それについて何かありますか。

非常に難しいところで、取り組んでいないわけではないのですが、結果論として、要するに推薦できなかつたとか、入札不調で遅れたとか、そういったものを重視したという非常に謙虚な評価だったと思うのですが、今の意見を踏まえて、もう一度検討していただければと思います。

あとは、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは、事務事業等に関する点検評価報告について、これも議案でありますので、先ほどの意見を踏まえて、議会に提出、それからホームページ上で公開してよろしいか、その採決をとりたいと思います。

各自の部分で確認したいと思いますが、千葉委員、いかがでしょうか。

○千葉委員 異議ありません。

○教育長 小野寺委員、いかがでしょうか。

○小野寺委員 異議ありません。

○教育長 佐藤委員、いかがでしょうか。

○佐藤委員 異議ありません。

○教育長 伊藤委員、いかがでしょうか。

○伊藤委員 異議ありません。

○教育長 私も、これでよろしくお願ひしたいと思います。

協議第4号 財産の取得について(学校給食用システム食器類洗浄機等備品)

○教育長 それでは議事日程第3、協議第4号、財産の取得について、事務局から提案をお願いします。

○学校教育課長 40ページをご覧ください。

協議第4号、財産の所得について、以下の財産を取得することについて、市長に申し入れをして協議するものであります。

(説明)

○教育長 それでは、協議第4号は提案でございますが、これは取得について、市長に申し入れるということでもあります。

そうするとこれは、9月補正になるということですか。

○**教育部長** 9月の議会に財産の取得ということで、上程するという事になります。

○**教育長** 分かりました。

これについて何か、ご質問等ありますでしょうか。

ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

よろしいですか。

これは、やむを得ないというか、このままでは何ともならないので、早急に対応するということになると思いますが、それでは協議第4号、財産の取得については提案の通りということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** ありがとうございます。

それでは、財産の取得については、提案どおりということで確認したいと思います。

2番の議事は終わりました。

3番、4番とありますが、少し時間が押しています。

3時半ぐらいになりましたので、4時には終了の目途で私も少しスピーディーに進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

報告(1) 第66回一関市議会定例会(一般質問)の状況について

○**教育長** それでは、3番に入ります。

(1)の第66回一関市議会定例会一般質問の状況につきまして、事務局からお願いします。

○**教育部長** 資料ナンバー1、A3の横判のもので説明をさせていただきます。

6月議会では、結構一般質問の件数が多くございました。

只今、教育長からありました通り、時間の関係もありますので、抜粋してご説明させていただきますので、後ほどお目通しをしていただければと思います。

まず1番でございます。

(説明)

○**教育長** 特に質問のあるところが、もしありましたら、よろしくお願いします。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○**教育長** それでは、次の報告に入ります。

報告(2) 行事報告及び8月行事予定について

○**教育長** (2)行事報告及び8月の行事予定について、まず行事報告について、私から報

告いたします。

資料ナンバー2の1ページからご覧ください。

前回、6月26日が教育委員会議でしたので、それ以降のことについて、お話しします。

6月29日金曜日、総合教育会議、これは大変ありがとうございました。

次の週、7月2日月曜日ですが、新しい副市長の高橋副市長が就任いたしました。

出身は奥州市であります。現在住んでいるのは仙台市ということで、立命館大学を出て、通商産業省に入られて、その後は復興庁で仕事をしたり、最近では経済産業省の東北経済産業局で、産業支援の課長補佐として、仕事をしておられた方です。

長田副市長の後任として、副市長ということでの就任でありました。

7月5日ですが、全国都市教育長協議会の第3回常任理事会理事会で、私が今回の一関大会のことについて、御礼とご報告を東京でさせていただきました。

資料は、その行事予定を少し見ていただきたいのですが、2ページほど後に一関大会アンケート集計結果を添付しています。

全部で来たのは500人近い教育長がおいでいただいたのですが、アンケートは、各県の教育長協議会の会長市にアンケートをとりました。

61の市から回答がありまして、アンケート結果の満足度は、「とても満足」、「満足」含めると、98パーセントぐらいの非常に高い評価を受けたというところがあります。

その以下の文言については、ここでは省略したいと思います。

ご覧になってください。

戻りまして、7月6日、図書館が100万人の入館者を達成いたしました。

今回100万人目は、三関在住の親子でありましたが、開館から4年で100万人ということで、くす玉を割って、お祝いをしたところがあります。

現在平日は大体700人ぐらい。

休日は1,000人を超える入館者を現在一関図書館では、誇っているところがあります。

第16週、7月9日、第2回の市の校長会議がありました。

10日、幼・小・中・高・特・高専・大 学校運営推進協議会。

各学校、校種を越えて校長先生方の集まる会議であります。今回は修紅短大に訪問しまして、こども園や短大の授業等を見学いたしまして、その後、キャリア教育について、厳美幼稚園、川崎小学校、川崎中学校、一関学院高等学校から、キャリア教育の実践発表を受けたところがあります。

12日、13日、東北六縣市町村教育委員会連合会の定期総会。

2日間、教育委員さん方、大変ありがとうございました。

14日ですが、岩手県中学校総合体育大会バレーボール競技の開会式がユードー

ムでありましたので、私が行って、挨拶をしてきたところでもあります。

ちなみに、今回の中総体では、団体競技でいいますと、磐井中学校がバスケットボール男子で県優勝でありましたし、卓球の男子では、巖美中学校が優勝、女子では大東中学校が優勝で、ソフトボールは藤沢、桜町、一関中の3校合同チームが県で優勝いたしました。

それから、競泳で、桜町中学校の女子が優勝しておりますということで、非常に多くの活躍があったところでもあります。

次のページであります。

2ページ目であります。18日の教科用図書を選定委員会と採択協議会は、先ほど述べたところでもあります。

19日、20日、私と学校教育課長、主幹の3人で、平泉町と一緒に、管外教育事情視察ということで、こちらの出身者が行っている遠野市、釜石市、大槌町、岩泉町、山田町に訪問をして、激励もしてきましたし、その学校で研修して参ったところでもあります。

21日、最先端科学体験研修事前研修・結団式がありました。

今年もつくば市に中学校3年生を対象に実施いたします。65名が参加予定であります。これには一関第一高等学校附属中学校、平泉町の中学校も入っております。

65名が参加予定でありまして、8月6日から2泊3日で、つくば市に訪問してJAXAやKEK、国土地理院等を見学する予定であります。

18週、今週であります。7月23日月曜日に教育民生常任委員会がありました。

花泉にあります千葉胤秀の旧宅。これを復元してほしいという、請願が地域から出されており、これについて担当の教育民生常任委員会での審査があり、聴取が行われたので、説明してきたところでもあります。

様々な課題を出されまして、今後、検討が必要だと捉えております。

24日、第1回の一関市博物館協議会がありました。

これについて、少し別紙を見ていただきたいのですが、昨年度の実績を報告されましたが、資料2の3枚目のところにあります。

入館者統計というところを見ていただきたいと思いますが、一関市博物館は入館者については、昨年度、平成29年度は23,331人ということで、20年前の開館以来の入館者数でありました。

昨年度は文化庁の特別展もありましたし、20周年で森本草介展もあった関係で、非常に多くの入館者がありました。

今年度は、これよりは間違いなく下がるとは思いますが、ただ、ここ3年を見ると15,000人を超えるぐらいの勢いになっていまして、博物館自体の認知度は、本当に、ここ2、

3年で非常に高まっているなという報告があったところでありましたし、この協議会の中では、非常に高い評価を得たところでもあります。

逆にプレッシャーも、感じたところでありました。

行事予定については、以上であります。

行事予定について何か、質問ありますでしょうか。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○**教育長** それでは、8月の行事予定について、教育総務課長。

○**教育総務課長** それでは、8月の行事予定について、ご報告いたします。

第19週、8月2日になりますが、子ども議会に出席となります。

20週、7日になります。教育研究所の教育講演会が、一関文化センターで開催されますので、そちらに出席でございます。

22週、21日になりますが、こちらは後ほど、委員さん方に協議をお願いしたいと思いますけれども、来月の教育委員会定例会を21日に考えてございます。

尚、21日で良しとなれば、会場でございますが、議会の第2委員会室、この部屋としておりましたが、市議会開催前ということで、使用されるので、一関保健センターの2階、栄養指導室で開催したいと考えてございます。

後ほど、協議をお願いしたいと思います。

次のページ、第23週になりますが、28日から市議会の本会議が始まりまして、30日、31日と一般質問となっております。

以上でございます。

すみません。あと、教育部長、各課の行事予定につきましては、資料に記載の通りでございますので、後ほど、お目通しいただきたいと思っております。

以上でございます。

○**教育長** それでは教育委員会の次回の定例会であります。8月21日という提案ありましたが、いかがでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**教育長** よろしいですか。

それでは、提案通り8月21日の2時から、保健センターの2階ですか。

○**教育総務課長** 保健センターの2階、栄養指導室。

○**教育長** それでは保健センターで、よろしく願いいたします。

その他、行事予定については、特によろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは、行事予定については、以上といたします。

その他(1) 平成30年度学校教育行政の重点について（特別支援教育）

○教育長 次に、その他に入ります。

2項目ありますが、(1)平成30年度学校教育行政の重点について、これは毎回テーマを一つずつ話しておりましたが、今回、特別支援教育ということですので、簡単にご説明をよろしくお願ひします。

○学校教育課長 資料3をご覧ください。

重点項目の4、特別支援教育です。

(説明)

○教育長 特別支援教育について、ご説明いたしました。

何か質問あれば、よろしくお願ひします。

(「なし」の声あり)

○教育長 これについては、また後日、何かある場合には、よろしくお願ひいたします。

その他(2) 大東学校給食センターの調理業務委託について

○教育長 それでは4のその他の(2)大東学校給食センター調理業務委託について、よろしくお願ひします。

○学校教育課長 資料ナンバー4をご覧ください。

(説明)

○教育長 これはそうすると議決事項ではなくて、前に民間委託の方針が決定しておりますので、その確認と捉えていいですか。

○教育部長 只今、教育長からありました通り、方針として順次、民間委託するということになっておまして、今回9月の市議会定例会の際に、この委託を来年度以降にするということで、債務負担を設定する補正予算を上程する関係がございますので、委託をすること自体が議案になるわけではないのですが、そのような流れがございますので、今回の委員会でご報告といたしますか、確認をしていただきたいということで、今回説明をさせていただいているところでございます。

○教育長 そうすると9月の議会の中で、補正予算の提案提出ですか。

○教育部長 債務負担という部分の補正予算の提案になります。

○教育長 そうすると具体的に、プロポーザルか何かに係る補正予算。

○教育部長 金額については、見積り等で設定した金額で、平成31年度から31、32、33の

3年間、この金額で債務負担価格の金額を設定しますよという関係。

○教育長 そのような案件ですね。

分かりました。

質問等、いかがでしょうか。

私から、もう1つ、予定では平成31年に大東が民間委託になると、残りは真滝なのですが、真滝は3年、もしなるとすれば、平成34年からは委員会としては副案として持っているというふうな捉え方でいいですかね。

○教育部長 今、お話ありましたとおり、3年間ということで想定しておりますので、平成34年には、真滝学校給食センター、全センターをですね。

○教育長 平成34年で全て民間委託が完了するということになりますね。

そこで直営が0になりますから、そこで働いている職員は、いずれ別の場所に配置転換しながら、対応できるということですね。

○教育部長 今回と同様に、こども園、保育園等では、それぞれ調理員を配置しておりますので、そちらでということもありますし、あとは職種変更等で、他の職務にということもあろうかと思いますが、いずれ人数的な部分については、保育園とか保健福祉部等とも調整しながら、人員は配置したいと考えています。

○教育長 分かりました。

皆さんから、いかがでしょうか。

それでは、これについては確認ということで、よろしく願いいたします。

以上で、4番のその他を終わります。

他に、もし事務局、皆さん方から、委員さん方からありましたら。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは、以上で第182回一関市教育委員会定例会を終わります。

ありがとうございました。